

## H. C. ダービー博士の訃

小林健太郎・足利健亮

今世紀の歴史地理学界における最高峰の一人に数えられるダービー Henry Clifford Darby 博士が、1992年4月14日に亡くなった。83歳であった。

この訃報は、たまたま同年4月に来日して私達と旧交を暖めて帰国したばかりの、ケンブリッジ大学地理学科講師グラスコック Robin E. Glasscock 博士からの手紙で伝えられた。手紙には、ベーカー Alan R. H. Baker 博士ほか2人の人が、それぞれ別の新聞に寄稿したダービー博士の追悼文3編が同封されていた。

グラスコック博士は、ベーカー博士とともに、ロンドン大学の University College でダービー博士の教えを受けた歴史地理学者で、ダービー博士がケンブリッジ大学地理学科の教授に迎えられた際、これまたベーカー博士とともに同学科講師に就任し、中世イングランドの歴史地理を中心とする研究と教育に従事している。

ダービー博士は、1980年に東京で開かれた第24回国際地理学会議に参加するため来日され、私達はその席上で初めてお会いする機会を持った。小林はその後、1982年に文部省在外研究員としてケンブリッジ大学に留学した際、グラスコック博士の仲介で、同年12月18日午後、ダービー博士宅を訪問した。右上の写真は、その折、博士の書斎で撮影したものである。この日の会話の中で、ダービー博士が翌年4月、広島で勤務中の令嬢を尋ねるため訪日を計画しておられることを知り、ちょうどその頃開催が予定されていた本会の京都大会にご出席頂きたい旨の申



写真1 ダービー博士夫妻  
(ケンブリッジの自宅書斎にて、1982年12月18日、小林撮影)

し入れをする一方、京都大会の責任者であった谷岡武雄先生にも、その旨連絡を取った。そして1983年4月30日、本会京都大会の巡検にダービー博士夫妻も参加され、西本願寺から京都タワーを経て伏見地区を歩くコースを会員と一緒に見学された。

このような機会を通じて知ることができたダービー博士の温厚な人柄は、今も強く印象に残っている。もちろん私達は、1936年に世に出た『1800年以前のイングランドの歴史地理 *An Historical Geography before AD 1800*』と、1973年の『新イングランド歴史地理 *A New Historical Geography of England*』の編著や、*Domesday Book* に基づく



写真2 本会京都大会巡検で西本願寺飛雲閣庭園を見学中のダービー博士と令嬢  
(1983年4月30日)

一連の名著などを通じて、少なからず学問的刺激や影響を受けてきたし、本会の元会長でもある恩師の故藤岡謙二郎先生からも、ダービー博士の業績についてうかがう機会が多かった。博士が亡くなられた4月14日は、奇しくも藤岡先生の命日と重なっている。

藤岡先生は、1957～58年、文部省在外研究員として、ダービー博士が主宰していたロンドン大学 University College 地理学科へ留学し、ダービー博士について次のような文章を残している。

「ダービー教授は日本人には比較的知られたイースト (G. East) 教授と異って、イギリスでもやや偏狭型だといわれているが、もし彼がイギリス人の典型だとすれば、少くも彼の学者としてのよきは、その地味な点にあるべきであろう。彼は中世の古文

書を主とした文献的歴史地理学を専攻している。その普通講義たる “Changing Landscape in England” も数回聴講したにすぎないが、何の山も谷もない坦々とした講義であった。しかもその内容も題目の如くイギリスに限られ、たまたに散村問題等にふれる時にルフェーブル等外人の名を出した程度であった——一般にイギリス人は第二外国語としてはドイツ語よりフランス語が達者である——。最初彼は私に何の目的でイギリスの都市をやるのかといった時、自分は日本の歴史的都市が専門で、その参考のためだと答えたところよくわかったという身ぶりをしていた。つぎに彼の特徴は言葉数が少ないことである…」(藤岡謙二郎著『地理学の旅』大明堂、1963年)。

ダービー博士の業績は、わが国の歴史地理学界にも大きな影響を与えてきた。いま、この点について論ずる準備は持たないが、一度だけとはいえ本会の大会巡検に参加され、会員との交流も持たれたというよしみを踏まえ、歴史地理学におけるダービー博士の業績について、最もの確に叙述しているベーカー博士によって書かれた追悼文をここに訳出することにした。この追悼文は、“The Independent” 紙1992年4月28日号に掲載されたもので、訳出に当たっては、本誌編集委員会からベーカー博士の承認を得ている。

蛇足ながら、藤岡先生は、ロンドン大学留学中に受講したダービー博士の講義を、学生時代のベーカー博士もまた受講していた可能性を記している(藤岡謙二郎・服部昌之共編『歴史地理学の群像』編者序、大明堂、1978年)。